

平成21年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社テレビ朝日

コード番号 9409 URL <http://www.tv-asahi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 早河 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 森岡 信夫

TEL (03) 6406-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	57,856	△10.0	2,415	△39.4	3,153	△34.7	1,309	△57.7
21年3月期第1四半期	64,252	—	3,983	—	4,829	—	3,092	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1,303.64	—
21年3月期第1四半期	3,078.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	299,927	238,202	77.8	232,245.61
21年3月期	300,311	236,150	77.2	230,913.34

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 233,271百万円 21年3月期 231,933百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	1,000.00	—	2,000.00	3,000.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		1,000.00	—	1,000.00	2,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	112,500	△10.1	△2,500	—	△1,600	—	△1,800	—	△1,792.08
通期	229,500	△7.2	4,100	103.4	5,500	59.7	3,400	—	3,385.05

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 1,006,000株 21年3月期 1,006,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 1,582株 21年3月期 1,582株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 1,004,418株 21年3月期第1四半期 1,004,418株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となる場合があります。業績予想の前提につきましては4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の日本経済は、企業収益と設備投資が大幅に減少し、生産活動が低い水準にあることに加え、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷など、引き続き厳しい状況にあります。

放送業界におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を下回る水準で推移するなど、大変厳しい状況となりました。

このような経済状況のなか、当社グループは、テレビ放送事業はもとより、音楽出版事業やその他事業においても収益確保に努めましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は578億5千6百万円で、前年同期比63億9千5百万円(△10.0%)の減収となり、売上原価、販売費及び一般管理費の合計は前年同期比48億2千7百万円(△8.0%)減の554億4千1百万円となりました結果、営業利益は24億1千5百万円で、前年同期比15億6千8百万円(△39.4%)の減益となりました。

また、経常利益は31億5千3百万円で、前年同期比16億7千5百万円(△34.7%)の減益、四半期純利益も13億9百万円で、前年同期比17億8千2百万円(△57.7%)の減益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①テレビ放送事業

タイム収入は、スポンサーの固定費削減傾向が拡大したため、4月改編セールスで苦戦を強いられ、レギュラー番組のセールスが大幅な減収となりました。単発番組では、「世界フィギュアスケート国別対抗戦2009」、「2010FIFAワールドカップ™ アジア地区最終予選」3試合、ドラマスペシャル「刑事一代」などのセールスを積極的に行い、増収となりましたが、タイム収入合計は204億4千8百万円となり、前年同期比24億9千1百万円(△10.9%)の減収となりました。

スポット収入は、「出版」「卸売」「家庭用品」が好調に推移したものの、「サービス・娯楽」「輸送機器」「食品・飲料」などをはじめとするほとんどの業種が低迷したため、215億2千万円となり、前年同期比29億4千6百万円(△12.0%)の減収となりました。

また、番組販売収入は、前年同期比4千5百万円(△1.4%)減の31億9百万円、その他収入は前年同期比7千9百万円(+1.7%)増の48億1千6百万円となりました。

以上の結果、テレビ放送事業の売上高は498億9千4百万円で、前年同期比54億4百万円(△9.8%)の減収となり、営業費用は前年同期比44億3千2百万円(△8.3%)減の487億7千万円となりました結果、営業利益は11億2千3百万円で、前年同期比9億7千2百万円(△46.4%)の減益となりました。

## ②音楽出版事業

“湘南乃風”のアルバム「JOKER」のリリースやコンサートツアーなどがあったものの、前年同期にあった“ケツメイシ”“HY”のアルバムやコンサートツアーの反動減などにより、音楽出版事業の売上高は19億1千3百万円で、前年同期比16億6千6百万円(△46.5%)の減収となりました。また、営業費用は前年同期比11億5千5百万円(△42.7%)減の15億4千8百万円となりました結果、営業利益は3億6千5百万円で、前年同期比5億1千万円(△58.3%)の減

益となりました。

### ③その他事業

「国宝 阿修羅展」が記録的な入場者数となったイベント事業やショッピング事業などが好調に推移したものの、前年同期に出資映画事業の「相棒-劇場版-」の大ヒットがあったことなどから、その他事業の売上高は前年同期比4億1千4百万円(+5.4%)増の80億4千2百万円となり、営業費用は前年同期比5億1千1百万円(+7.7%)増の71億1千7百万円となりました結果、営業利益は9億2千5百万円で、前年同期比9千7百万円(△9.5%)の減益となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比3億8千3百万円減の2,999億2千7百万円となりました。これは、たな卸資産が5億7千6百万円増加したものの、有形固定資産が8億7千3百万円減少したことなどによります。

負債は、支払手形及び買掛金が13億7千8百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比24億3千4百万円減の617億2千5百万円となりました。また、純資産はその他有価証券評価差額金が19億9千万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比20億5千1百万円増の2,382億2百万円となりました。この結果、自己資本比率は77.8%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上高に大きな影響をおよぼすテレビ広告市場は、引き続き大変厳しい状況が続くものと想定されます。当社グループは、テレビ広告収入拡大に向けた取り組みを行うほか、音楽出版事業、その他事業についても収入拡大に継続的に注力し、また、営業費用についても徹底したコストコントロールを行うため、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成21年4月30日に公表いたしました数値を変更しておりません。また、第2四半期累計期間および通期の個別業績予想につきましても、同日公表の数値を変更しておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①簡便な会計処理

##### 1. たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の商品等のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、商品等の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

## 2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

#### 1. 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,584	11,594
受取手形及び売掛金	60,893	61,508
有価証券	37,737	39,026
たな卸資産	11,596	11,019
その他	9,777	9,441
貸倒引当金	△81	△89
流動資産合計	132,507	132,500
固定資産		
有形固定資産	68,670	69,544
無形固定資産		
その他	5,545	5,634
無形固定資産合計	5,545	5,634
投資その他の資産		
投資有価証券	74,739	74,578
その他	18,777	18,401
貸倒引当金	△312	△347
投資その他の資産合計	93,204	92,631
固定資産合計	167,420	167,810
資産合計	299,927	300,311
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,482	15,860
未払法人税等	1,256	743
役員賞与引当金	22	107
その他	30,839	32,779
流動負債合計	46,600	49,490
固定負債		
退職給付引当金	13,309	13,221
役員退職慰労引当金	517	301
その他	1,297	1,145
固定負債合計	15,124	14,669
負債合計	61,725	64,160

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,642	36,642
資本剰余金	55,342	55,342
利益剰余金	142,026	142,729
自己株式	△321	△321
株主資本合計	233,691	234,393
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△303	△2,293
繰延ヘッジ損益	△9	△23
為替換算調整勘定	△107	△143
評価・換算差額等合計	△419	△2,460
少数株主持分	4,930	4,217
純資産合計	238,202	236,150
負債純資産合計	299,927	300,311

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	64,252	57,856
売上原価	45,469	42,473
売上総利益	18,782	15,382
販売費及び一般管理費	14,799	12,967
営業利益	3,983	2,415
営業外収益		
受取利息	178	54
受取配当金	394	415
持分法による投資利益	262	188
その他	47	160
営業外収益合計	882	818
営業外費用		
為替差損	15	—
固定資産廃棄損	18	73
その他	3	6
営業外費用合計	36	80
経常利益	4,829	3,153
特別損失		
投資有価証券評価損	13	—
特別損失合計	13	—
税金等調整前四半期純利益	4,815	3,153
法人税等	1,637	1,451
少数株主利益	85	392
四半期純利益	3,092	1,309

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 6月30日）

（単位：百万円）

	テレビ放送事業	音楽出版事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	54,509	3,530	6,212	64,252	—	64,252
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	789	49	1,415	2,255	(2,255)	—
計	55,299	3,580	7,628	66,507	(2,255)	64,252
営業利益	2,096	876	1,022	3,995	(11)	3,983

(注) 1. 事業区分は売上集計区分によっております。

2. 各事業区分の主要な事業内容

テレビ放送事業：テレビ放送時間の販売、番組の販売、商品化権料収入

音楽出版事業：音楽著作権・著作隣接権の管理事業、レコード事業、アーティストマネジメント事業等

その他事業：イベント事業、ビデオ・DVD販売、出版、出資映画事業、ショッピング事業及び放送用機器等の販売等

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 6月30日）

（単位：百万円）

	テレビ放送事業	音楽出版事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	49,107	1,878	6,870	57,856	—	57,856
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	786	35	1,171	1,994	(1,994)	—
計	49,894	1,913	8,042	59,850	(1,994)	57,856
営業利益	1,123	365	925	2,414	0	2,415

(注) 1. 事業区分は売上集計区分によっております。

2. 各事業区分の主要な事業内容

テレビ放送事業：テレビ放送時間の販売、番組の販売、商品化権料収入

音楽出版事業：音楽著作権・著作隣接権の管理事業、レコード事業、アーティストマネジメント事業等

その他事業：イベント事業、ビデオ・DVD販売、出版、出資映画事業、ショッピング事業及び放送用機器等の販売等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

平成22年3月期第1四半期経営成績等(個別)の概況(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	51,858	△ 8.2	1,477	△ 42.8	2,810	△ 27.3	1,946	△ 31.4
21年3月期第1四半期	56,485	—	2,582	—	3,866	—	2,836	—

	総資産		純資産	
	百万円		百万円	
22年3月期第1四半期	284,333		217,513	
21年3月期	285,806		215,628	

売上高(個別)の内訳

	21年3月期第1四半期	22年3月期第1四半期
	百万円	百万円
タイム収入	22,940	20,527
スポット収入	24,466	21,520
番組販売収入	3,157	3,111
その他収入	414	429
その他事業収入	5,506	6,269
売上高合計	56,485	51,858

平成22年3月期 第1四半期決算短信補足資料

1. 連結損益計算書

(単位：百万円)

	21年3月期第1四半期	22年3月期第1四半期	前年同期比		
売上高	64,252	57,856	△	6,395	△ 10.0%
タイム収入	22,780	20,307	△	2,472	△ 10.9%
スポット収入	24,344	21,498	△	2,845	△ 11.7%
番組販売収入	3,004	2,968	△	35	△ 1.2%
その他収入	4,380	4,333	△	47	△ 1.1%
音楽出版収入	3,530	1,878	△	1,652	△ 46.8%
その他事業収入	6,212	6,870		658	10.6%
営業費用	60,268	55,441	△	4,827	△ 8.0%
営業利益	3,983	2,415	△	1,568	△ 39.4%
売上高営業利益率	6.2%	4.2%	△	2.0%	
営業外収益	882	818	△	63	△ 7.2%
(うち持分法による投資利益)	(262)	(188)	△	73	(△ 28.2%)
営業外費用	36	80		43	117.2%
経常利益	4,829	3,153	△	1,675	△ 34.7%
売上高経常利益率	7.5%	5.5%	△	2.0%	
特別損失	13	—	△	13	—
(うち投資有価証券評価損)	(13)	(—)	(△ 13)	(—)	(—)
税金等調整前四半期純利益	4,815	3,153	△	1,661	△ 34.5%
法人税等	1,637	1,451	△	186	△ 11.4%
少数株主利益	85	392		307	359.8%
四半期純利益	3,092	1,309	△	1,782	△ 57.7%

持分法による投資利益の明細

(単位：百万円)

	21年3月期第1四半期	22年3月期第1四半期	前年同期比		
東映アニメーション(株)	201	169	△	32	△ 16.0%
(株)ビーエス朝日	4	3	△	0	△ 13.6%
その他	56	14	△	41	△ 73.3%
合 計	262	188	△	73	△ 28.2%

2. セグメント情報

(単位：百万円)

	21年3月期第1四半期	22年3月期第1四半期	前年同期比			
テレビ放送事業						
売上高	55,299	49,894	△	5,404	△	9.8%
タイム収入	22,940	20,448	△	2,491	△	10.9%
スポット収入	24,466	21,520	△	2,946	△	12.0%
番組販売収入	3,155	3,109	△	45	△	1.4%
その他収入	4,736	4,816		79		1.7%
営業費用	53,203	48,770	△	4,432	△	8.3%
営業利益	2,096	1,123	△	972	△	46.4%
音楽出版事業						
売上高	3,580	1,913	△	1,666	△	46.5%
営業費用	2,703	1,548	△	1,155	△	42.7%
営業利益	876	365	△	510	△	58.3%
その他事業						
売上高	7,628	8,042		414		5.4%
営業費用	6,605	7,117		511		7.7%
営業利益	1,022	925	△	97	△	9.5%
消去又は全社						
売上高	△ 2,255	△ 1,994		260	△	11.6%
営業費用	△ 2,243	△ 1,994		248	△	11.1%
営業利益	△ 11	0		12		—
合計						
売上高	64,252	57,856	△	6,395	△	10.0%
営業費用	60,268	55,441	△	4,827	△	8.0%
営業利益	3,983	2,415	△	1,568	△	39.4%

「その他事業」セグメント 売上高の明細

(単位：百万円)

	21年3月期第1四半期	22年3月期第1四半期	前年同期比			
ショッピング事業収入	1,706	2,310		604		35.4%
イベント事業収入	531	1,207		675		127.1%
出資映画事業収入	1,092	843	△	249	△	22.8%
インターネット関連収入	506	706		200		39.5%
C S 事業収入	538	573		35		6.6%
ビデオ・DVD販売収入	793	300	△	493	△	62.1%
その他	2,459	2,100	△	359	△	14.6%
合計	7,628	8,042		414		5.4%